

人権教育だより『ひだまり』 第3号

令和5年12月22日発行

人権感覚の涵養 ～他者の人格を尊重し、自己肯定感の向上を図ろう～

江津工業高等学校 人権教育担当

冬休みに前に

12月に入っても気温が20度前後になる暖かくなるような日もあったりしましたが、急に冷え込んできて、身体が変化に追いつかないくらいです。そんな中、今年も終わりを告げようとしています。このような節目をひとつのタイミングとして、今年一年、自分とまわりのひとのかかわり方がどうだったか、振り返ってみましょう。人権とはみんなが幸せにおだやかに過ごせる権利のことです。自分もまわりも幸せに過ごせたでしょうか。

スマホでのやりとりは慎重に

冬休み期間中は普段よりもスマホを使う時間が長くなるかもしれません。友人とのやりとりなども、直接ではなく、SNSなどを通じて多くなると思います。ちょっとした行き違いがトラブルのもとになることもあります。「そんなつもりはなかったけれど…」ということでも、相手のとらえ方によっては、嫌な気分になってしまったり、人権侵害につながるおそれがあります。手軽さがメリットである反面、ことばを発信・送信する際は、いったん、受け取る側のことをよく考えてからにしましょう。

※児童ポルノにも注意※

児童ポルノの所持・製造・提供は犯罪です

「児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律」（いわゆる「児童買春・児童ポルノ禁止法」）においては、18歳未満の者の性的な写真や動画など（児童ポルノ）を所持することや製造すること、提供することなどが禁止されており、違反した場合には、懲役や罰金といった重い罰則が科せられることになります。

「所持」「製造」「提供」というのは、性的な目的で、スマホなどに写真・動画などを保存すること、撮影すること、他人に送ること、を意味しています。

セクシュアル・ハラスメント防止アンケートをはじめました

セクハラを未然に防ぐために、授業とは関係のない性的な言動や、画像・動画の視聴を見かけたときに、いつでも声をあげることができるようするために、アンケートを11月から始めました。生徒ポータルから、随時、回答を受け付けています。アンケートに入力しづらい場合は、自分の希望する先生に直接相談することもできます。該当するようなことがないのが一番ですが、見かけた場合にはためらわずに相談してください。生徒のみなさんが被害者にも加害者にもならないために、よろしくお願いします。

人権に関するホームルーム

12月上旬に、学年ごとのテーマで行いました。

1年生「自他の尊重について考えるⅡ ～私の五面鏡～」

自分の長所・短所をみつめるとともに、友人の長所を伝えたりしながら、互いを尊重して生活することについて考えました。グループワークで互いの長所を伝えあっている様子は、照れくさそうにしながらもとてもほっこりした雰囲気でした。

～感想～

- ・自分の良いところが他の人（から見た良いところ）とだいたい同じだったので、自信がついた気がします。
- ・中学校でもやったことがあったけど、そのときはまたちがった回答になっておもしろかった。
- ・自分が自分のことをこのような人間なんだと思っていても、ほかの人からみた自分は、自分がまだ知らなかったことを見えてくると気づきました。
- ・自分の知らない良いところを知って、見てもらえていることがうれしくなりました。

2年生「差別の歴史から学ぶⅡ」

北代色さんの手紙文「タヤけがうつくしい」を通じて、識字学級や学校に行けなかった背景について知るとともに、字を学ぶことで生きる喜びにつながるということについて考えました。

～感想～

- ・字が読めるか読めないかで、日々の楽しさは変わってくるということが分かりました。……字が読めるということはすごいことで、あたりまえのようであたりまえのことじゃないんだなと思いました。
- ・もっとあたりまえについての考えを広げていかなければならないと思った。そうすれば、まわりのことに関する感謝がより深まると思う。
- ・漢字とかきらいで勉強してこなかったけど、今回の授業で「タヤけがうつくしい」をみて考えを改めようと思いました。
- ・今までこんなひとたちがいるなんてことを考えてもみなかったし、初めて知ったので、自分が字の読み書きをできるありがたさなどを感じました。……あらためていろんな人たちがいるということを意識しながら生活していきたいです。

3年生「結婚差別の問題を考えることにより人権感覚を磨く」

結婚差別が今もなお続いているという人権問題についての調査結果や、DVD『部落の心を伝えたい』を視聴しました。DVDでは結婚差別を乗り越えられなかった例と乗り越えられた例について考え、まわりの人びとの存在の大きさとともに、この問題を他人事ではなく自分事として考える大切さを学びました。

～感想～

- ・結婚差別は、同和地区出身の人だけが苦しいのかと思っていました。でも、そうではなく、その相手、親族も同じくらい苦しみ、一生苦しむ人もいることを知りました。
- ・生まれる場所も親も、子どもは選べません。自分や相手の出身地がどこであれ、親がどんな人であれ、自分たちの人生なので、自分たちの意思を貫き通し、幸せな人生を送れるようにしたいです。